

皮膚バリア力は、肌のトラブル解消、素肌の維持、そしてメイクのノリの改善に不可欠

皮膚のバリア力は、肌のトラブルの解消、素肌の保持、そしてメイクのノリの改善にとって不可欠です。しかし、この事実にはほとんどのヒトが気づいていません。

肌のトラブルの解消、素肌の保持、そしてメイクのノリの改善など、これら全てのニーズは肌の状態、特に角質層の皮膚バリア力に直接関連しています。肌の健康を維持し、これらのニーズを満たすためには、角質細胞間脂質のラメラ構造を保つことが重要です。このラメラ構造は皮膚のバリア力を支え、肌のトラブルの解消、素肌の保持、そしてメイクのノリの改善などに欠かせない要素となります。

では、角質細胞間脂質のラメラ構造を高めるためには、どのようなスキンケアが効果的ですか：

1. リノール酸を含むエマルジョン化粧品の使用：
セラミドは角質細胞間脂質の主成分であり、ラメラ構造の維持・向上に非常に重要です。ただし、セラミドはターンオーバーの過程で生成されます。セラミドには保水セラミドとバリアセラミドがあります。これらの違いは、リノール酸が結合するかどうかによります。リノール酸がエステル結合しているセラミドは「アシルセラミド」と呼ばれ、これが「バリアセラミド」の役割を果たします。リノール酸がなければ、アシルセラミド「セラミドEOS」はバリアとしての働きをしません。この皮膚バリアの科学の事実を一般のヒトは知りません。
2. 市場ではセラミドを含む化粧品の使用、保湿力が高く刺激の少ないスキンケア製品の使用、そしてターンオーバーを促進するスキンケアが推奨されるが…：
しかし、これらは必ずしも角質細胞間脂質のラメラ構造を高めるものではありません。リノール酸は必須脂肪酸で、私たちの体内では自然に生成されません。これは、食事など外部から摂取する必要があるということです。また、セラミドは非常に溶けにくい成分で、化粧品に安定して高濃度で配合することは難しいとされています。これは、セラミドを含む化粧品が必ずしも効果的であるとは限らない理由の一つです。さらに、皮膚バリアが壊れているときのターンオーバーを促進するスキンケアは、逆効果です。

肌トラブルの解消、素肌の維持、そしてメイクのノリの改善には、つまり、皮膚のバリア機能を高めるためには、合成界面活性剤不使用のリノール酸を含むエマルジョン化粧品の使用が不可欠です。